

評価結果概要表

【評価実施概要】

作成日 平成 20 年 1 月 7 日

事業所番号	2775004647	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	医療生協かわち野生活協同組合		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	グループホーム かわち野	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103
所在地	東大阪市加納1丁目9番21号	評価調査日	平成 19 年 12 月 29 日
電話	072-968-6560	評価確定日	平成 20 年 1 月 7 日

【情報提供票より】(平成 19年12月22日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年 2月 1日
ユニット数	ユニット 2 利用定員数 18人
職員数	常勤 20人 非常勤 8人 常勤換算 5.1人

(2) 建物概要

建物の構造	木造 造り
	2階建ての(1階~2階部分)

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000円	その他の経費(月額)	15,000円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金を含む)	有	償却の有無	無	
	300,000円			
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1月当たり		45,000	円

(4) 利用者の概要(12月22日現在)

利用者人数	18名	男性	3名	女性	15名
要介護1	2名	要介護2	6名		
要介護3	7名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	1名		
年齢	平均 84才	最低	65才	最高	94才
(5) 協力医療機関名	生協加納診療所 西倉歯科				

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

職員20名は開設以来3年間で退職者3名だけしか変わっていない。介護は企業理念を念頭に置き、安定して実施されている。職員研修を着実に実施し、府立研修センターの研修にも指名者を参加させている。又、別の介護通信教育には15名が自主的に受講中で、全員が08年春に修了予定。その他、入居者の過去の生活習慣等の聞き取りや、発見した言動の記録が出来るので、介護の見直しの資料と

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	表玄関の鍵は開放されている、ユニット毎の鍵は職員の管理中は開放されているが、建物の構造上に死角があり、検討課題となっている。入居者の日常生活での支援は、月4回のリクエストの食事も含めて可能な手伝いをしてもらっている。職員研修は着実に実施しており、勤続年数も長くなりつつあるので、介護は安定して行われている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価は、ユニット毎に職員が話し合っで作成された。職員の勤続年数が長く、介護も安定してきており、更に、職員会議や相互での研修と、内外部の研修会出席も積極的に実施しているので、今後のレベル・アップが期待できる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み(関連項目:外部4、5、6)
	運営推進会議は平成19年1月10日に第1回を開催し、11月までに3回開催している。今までは、地域包括センターや、地域の自治会長、婦人部会員、その他の参加者、ご家族代表等の出席で、グループホームの活動内容の紹介が主となってきたが、今後はホームが地域への働き掛けも模索したいとしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7、8)
	職員のケア・レベルの向上に伴って、ご家族のアンケートの結果では、殆どの方が安心と満足感を表明しておられる。運営推進会議や家族会の席上での提案、苦情などは殆ど無いが、来訪時での話し合いも含めて、苦情や提案があればすぐに対応できるシステムになっている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	今年度は地域の招きで盆踊り、校区のふれあい祭り、その他、四季おりおりの行事に参加して交流し、また、ホーム内ではボランティアの方々の、各種の活動や奉仕を受け入れて、利用者の方々に喜んで頂いている。今後も連携を予定しているが、運営推進会議を通じて、地域への福祉活動に協力できないか、ということも検討している。

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	組織が地域の医療生活協同組合なので、利用者も含め、組合員一人ひとりを尊重する理念を掲げている。職員は会議を始め日常の活動でも、基本としての理念を管理者より強調されている。		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の活動は、上記の理念の実践として行っている。		
2 地域との支えあい					
	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	組織は地域の多数の組合員に関心を持たれているので、何かにつけて地域との交流が行われ、又、地域の方からも参加の呼びかけがあり、可能な限り出席している。		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者の指示により、職員が毎日の介護の見直しと検討から、自己評価票が作成された。		
	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	平成19年1月から開催されている。議事は、ホームの活動内容の説明が主となって来たが、今後は、会議での懇談の中から、ホーム側からの地域へ福祉を知っていただく広報活動も検討課題となっている。	○	運営推進会議だけでなく、地域の自治会とも、グループホームの生活の実情を広く知って頂けるよう、機会を見つけて活動してください。
	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域包括センターとの交流は定期的に行われ、情報交換が行われている。		
4 理念を実践するための体制					
	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	毎月の請求書に短信を記入して様子を知らせている。来訪時には直接話し合いをしており、直接の電話連絡も行っている。		
	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	投書箱を設置している、国民保険連合会のPRポスター等を掲示し、家族との直接対話に努めている。毎月の料金については、振込は原則として受けず、ご持参を依頼している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	○	職員に権限委譲を進めつつあるが、各自が責任感を持ち、チーム力を発揮して介護支援の更なる向上を期待したい。
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		
--	----	----	---	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		
--	----	----	--	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		
--	----	----	--	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		
--	----	----	---	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	利用者の過去、現状と心境等で変化があれば、記録をもとに職員会議で検討し、ご家族とも相談している。記録用紙は公開されているものを使って管理されている。		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介護など適宜、支援している。		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	入居時に家族とも相談し、かかりつけ医師を定めている。殆どの入居者は施設側の往診医師に変更している。		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居年数が長くなるのに従って出て来る問題なので、入居の際にもご家族と話し合っているが、ホームとしての方針を、職員と共有できるよう検討を進めている。	○	ご家族とも話し合いが必要となりますので、ホーム内で調査研究し、職員も、よく理解し合ってください。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	職員と利用者との関係が長くなるほど、対応に注意している。		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	原則として利用者を優先させているが、行事など職員に負担が多くなったときに、対応しきれないため、改善を検討している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の配膳や片付けを手伝っていただける利用者が固定しつつあり、課題となっている。月4回を手作りの日として支援を進めたいとしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		原則的に職員の多い時間帯としているが、出来るだけ声かけで入浴を勧めている。

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		入居者一人ひとりの楽しみを把握するようにしている。
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		出来る限り、希望に沿って外出するように配慮している。

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		衣玄関の鍵は開放されているが、各居室のドアは、管理する職員が見守れる時間は良いが、その他の時間は、建物構造的に死角があって見守りが出来ず、引き続き検討課題となっている
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		避難ルート、避難場所は把握されている。地域の避難訓練にも参加を検討している。

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		食事、水分の摂取量の看取り記録は出来ている。食材はメニュー付で購入されているが、月4回はリクエストによる食事を手伝える方々と職員とで作っている。
--	----	----	---	--	--

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		常に掃除をしており、季節感を感じるような活花を飾り、壁飾りも変化させている。
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		居室内は本人の使い慣れた道具類を置いてもらっている。昼は殆どの方が、共用室で楽しんでいる。